

エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先

被招へい者：Hu Chin-Ping (National Central University, Ph.D student)

滞在期間：2011/10/03 – 10/05

滞在先：CPS

2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分

谷川享行（CPS/北大、博士研究員）

3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

我々の主要な連携先である NCU 天文の学生が CPS 8th International School of Planetary Sciences に参加する機会を活かし、滞在を延長して CPS へ訪問してもらい、相互交流を図る。Chin-Ping Hu 氏には 10/4 に CPS セミナーを行ってもらい、この研究発表を通じて互いの興味について意見を交わし、今後の共同研究への可能性を探る。

4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

今回の滞在では、CPS 滞在中のみならず、その前に南あわじで行われたプラネタリースクールの期間から CPS スタッフや国内の学生など幅広い人と交流を深め、互いの興味を交換することができた。また、CPS セミナーでの Chin-Ping Hu 氏の講演は、タイトルが「Time-Frequency Analysis of Superorbital Modulation of X-ray Binary SMC X-1 by Hilbert-Huang Transform」であり専門が大きく異なる聴衆が多かったが、講演ではイントロダクションから丁寧に説明されていて、専門外の人にも理解しやすく好評であった。また、彼の発表の中心であった周期や振幅が時間変動するデータに対する周波数解析の手法は、彼が対象とした X 線連星のデータのみならず周期的な変動を示すデータに対して幅広く活用可能であるので、今回の講演をきっかけに、聴衆者の中から惑星科学の分野でも活用する人が出てくるのが期待できるかもしれない。